



ロータリー:
変化をもたらす

Rotary



2017-2018 年度

国際ロータリー会長 / イアン H.S. ライズリー 会長 / 佐々木 哲也 副会長 / 小汀 泰之
2690地区ガバナー / 池上 正 幹事 / 曾田 敏康 会計 / 高砂 明弘

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
12月21日	会員 山口 弥	会員スピーチ
12月28日	休会	
1月4日	休会	
1月11日	ホテル ほり江 18:30~	新年例会
1月18日	会員 河原・持田稔・曾田	年女・年男の抱負

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
42	36	6 (3)	92.31%	100%

■欠席者

飯塚俊 / 園山 / 大島治 (山根 / 牧野 / 遠藤)

■来訪者

なし

■メイクアップ

12/20 板垣 (松江)

■次回例会受付当番

(1月11日) 板垣文江 / 石原俊太郎 / 石原輝男

(1月18日) 日野寿明 / 伊藤義徳 / 釜屋治男

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央 12/25(-) 1/22	松江南 12/25 1/1(-) 1/8(-) 1/29
火	出雲 12/26(-) 1/2(-)	松江しんじ湖 12/26 1/2 1/9 1/30
水	大社 12/27 1/3(-) 1/10	松江 12/27 1/3 1/31
木	(-) ; ビジター受付 なし	松江東 12/21 12/28(-) 1/4(-)
金	出雲南 12/29(-) 1/19 1/26	

■会長挨拶

2017 年も残すところあと 10 日、年々時間経過を早く感じます。ロータリーの例会も今日が今年最後となりました。今年 1 年は、ロータリー以外のことも含めて非常に慌ただしい 1 年でした。

会長就任前の会議として 3 月の会長エレクト研修セミナー、4 月の地区研修・協議会、5 月の地区会員増強・ロータリー財団合同セミナーがそれぞれ倉敷で開催されました。昨年 12 月の次期財団委員長研修会と今年 10 月の地区大会も含め、倉敷美観地区には計 5 回訪れましたが、観光する余裕はありませんでした。

5 月以降、クラブ内での各種会議を経て 7 月から新年度が始まり、11 月の年次総会では、会長ノミニーも決まって、次年度に向けての体制固めも一段落したところです。また、予定していた意見交換会も計 2 回開催させていただき、会員の皆さんの抱いておられる問題意識も、少しではありますが把握できてきたように思っています。

RI 会長テーマ「ロータリー: 変化をもたらす」は難しい内容ですが、地球の持続可能性を考慮した植樹事業は、来年 4 月、第 4 グループの 5 クラブ合同でおこなうことが決まっています。また会員増強についても、40 歳以下・女性ではありませんが、新入会員候補者 3 名を先週の例会で発表させていただいたところです。

残りの半年は、今年度と次年度準備が並行していくこととなりますが、引き

続き会員の皆さんにご協力いただきながら、クラブの運営をおこなってきたいと思ひます。

年末年始の期間、事故を含めてご健康に留意していただきますようお願いして、今年最後の会長挨拶といたします。

■幹事報告

1. 例会変更

○大社 RC 1/10(水) 18:30~ 新年会 会場: ますや旅館

ビジター受付 11:30~12:30 事務局

○出雲南 RC 1/19(金) 職場訪問例会

1/26(金) 新春家族会(夜間)

ビジター受付 11:30~12:30 事務局

2. 休会

○出雲南 RC 12/29(金) 定款第 8 条により ビジター受付 なし

3. 会費の引落 1/5 1・2・3 月分(54,000 円)

4. 「2018 年平田青少年新春コンサート」チケット配布 (複数ご希望の方事務局まで)

5. 2016-2017 年度地区活動報告書の配布 (正誤表があります)

6. 出雲一畑交通(株)平田営業所様よりお歳暮を頂きました。

7. 松浦 剛司 様、岩浅 慎龍 様、大島 淳司 様の入会に対し昨日までに意義の申し立てがございませんでしたので入会が決定致しました。なお入会式は年明けの新年例会(1/11(木) 18:30~)の日に行います。

■委員会報告

プログラム委員会 : 1 月の例会プログラム予定表配布

■スマイル

佐々木 (ダジャさん、例会へようこそ。山口会員本日のスピーチよろしくお願ひします。当初の予定を変更していただきありがとうございました。出席率 100% 達成、皆さんありがとうございました。)

曾田 (本日は今年最後の例会となりました。1 年間ありがとうございました。山口会員、本日のスピーチ宜しくお願ひ致します。)

■スピーチ・例会行事

「県内鑄物企業から排出される産業廃棄物リサイクルの現状と取り組みについて」

会員 山口 弥

島根県における鑄物製品の生産量はあまり県民の意識にはありませんが、昨年度、愛知県、栃木県に次ぐ全国第 3 位を誇る主要産業です。また、本出雲地域は県内でも有数の鑄物企業集積地であり、平田地域はその中でも大きな 3 企業がある重要な地域となっています。



今日までそれらの企業から排出される鑄物系産業廃棄物は年間約 4 万トンにのぼり、そのほとんどは「いずみクリーンパーク」で埋め立て処分されておりましたが、昨今の世界的な環境意識の高まりから求められる企業コンプライアンスや企業イメージの改善、新たな埋め立て処分場の建設が困難なこと、産廃税導入などの企業の経済的負担の増加等、鑄物産業界において

大きな問題となっていました。また今後の施設の処分残量にも限界があり、地域の大切な処分場として延命が求められています。

これらの状況を少しでも改善するため、弊社は平成 17 年、鋳物企業より排出される産業廃棄物に特化した全国でも数少ない中間処理(リサイクル)業者として創業を開始しました。

弊社では主力製品として、鋳物廃砂を攪拌・造粒した「エコマサ」とキュポラスラグを破砕・分級した「スラグサンド」があります。

エコマサの主要な用途は真砂土に変わる各種盛土工事への埋め戻し材料として、上下水道工事、造成工事などに利用されています。また、スラグサンドは上下水道工事における管路の保護材やインターロッキングブロック舗装のクッション材、平田木綿街道などでも使用されたアスファルト合材の景観骨材など、様々な用途で使用されるようになりました。

リサイクル製品・販売するにあたって「産官学」様々のご支援を頂き、現在も支援いただいております。特に島根県においては県の重要な産業である鋳物工業界に対し厚い支援がなされています。リサイクル製品の開発、製造機械の技術開発、機械購入費用など様々な補助金制度があり、弊社においても有効的に活用させていただいております。また販売においても販売促進見向けの助成金制度や、土木部の「しまねハツ建設ブランド認定制度」、環境政策部の「しまねグリーン製品認定制度」など公共事業に活用されやすいように工夫がされています。またエコマサにおいては、国土交通省が推奨する NETIS(新技術情報提供システム)への登録製品にも認定され、公共事業の広範囲において販売を行っています。

昨今、我々の日常の様々な場面でリサイクル商品に接する機会があります。しかし、とかくリサイクル商品は元々不要になったものだから安価であるという間違った認識をされがちですが実情は全く逆で、不要になったものを価値ある物に変える事は非常に大変です。実は新品以上にお金も労力も時間も全てにおいて掛かる事を知ってほしいと思います。

最後に、この島根県に、そしてこの平田地域に日本でも有数の産業が存在している事を誇りに思っていたら幸いです。